

2021年6月期

決算補足説明資料

2021年8月13日

株式会社バリューデザイン

証券コード：3960

1. 2021年6月期 決算報告
2. セグメント別業績
3. 2022年6月期の業績見通し

コロナ影響が主要因となり減収減益、4Qは好調で最新予測レンジの上限付近で着地

連結売上高 : **2,223**百万円 前期比 ▲10.3% 達成率 101.2% (最新予測比)

連結営業利益 : **31**百万円 前期比 ▲77.1% 達成率 101.4% (最新予測比)

■ 2021年6月期 トピックス

① システム利用料は当初予測通り、初期売上の遅れ・期ズレ影響は修正予測通り

- ・システム利用料は前期比 + 0.6% (当初計画比0.4%増) で着地。飲食業はプリペイド利用の回復遅れ、小売業は4Q導入案件好調で3Q時点の進捗 (前期比▲8%) から改善。
- ・初期売上は、コロナ影響により新規受注・サービス立上げ、及び既存顧客への追加商材販売が計画通りに進捗せず前期比▲26%。期ズレ案件は翌期へ移行。

② 顧客接点のDX支援に向けたサービスをリリース、22/6期より本格稼働

- ・第11回新株予約権による調達資金で顧客分析/コミュニケーションサービス「Value Insight」、デジタルギフトサービス「Value Gift」等の新規サービスを開発・リリース。マーケティングDX支援を本格的に開始。

③ 海外事業は成長市場へのリソース集中のため、再編を開始

- ・2021年4月に中国の現地法人の閉鎖を決定、海外事業は成長市場を中心としたリストラクチャリングへ

1. 2021年6月期 決算報告

2. セグメント別業績

3. 2022年6月期の業績見通し

連結損益（2021年6月期）

(百万円)

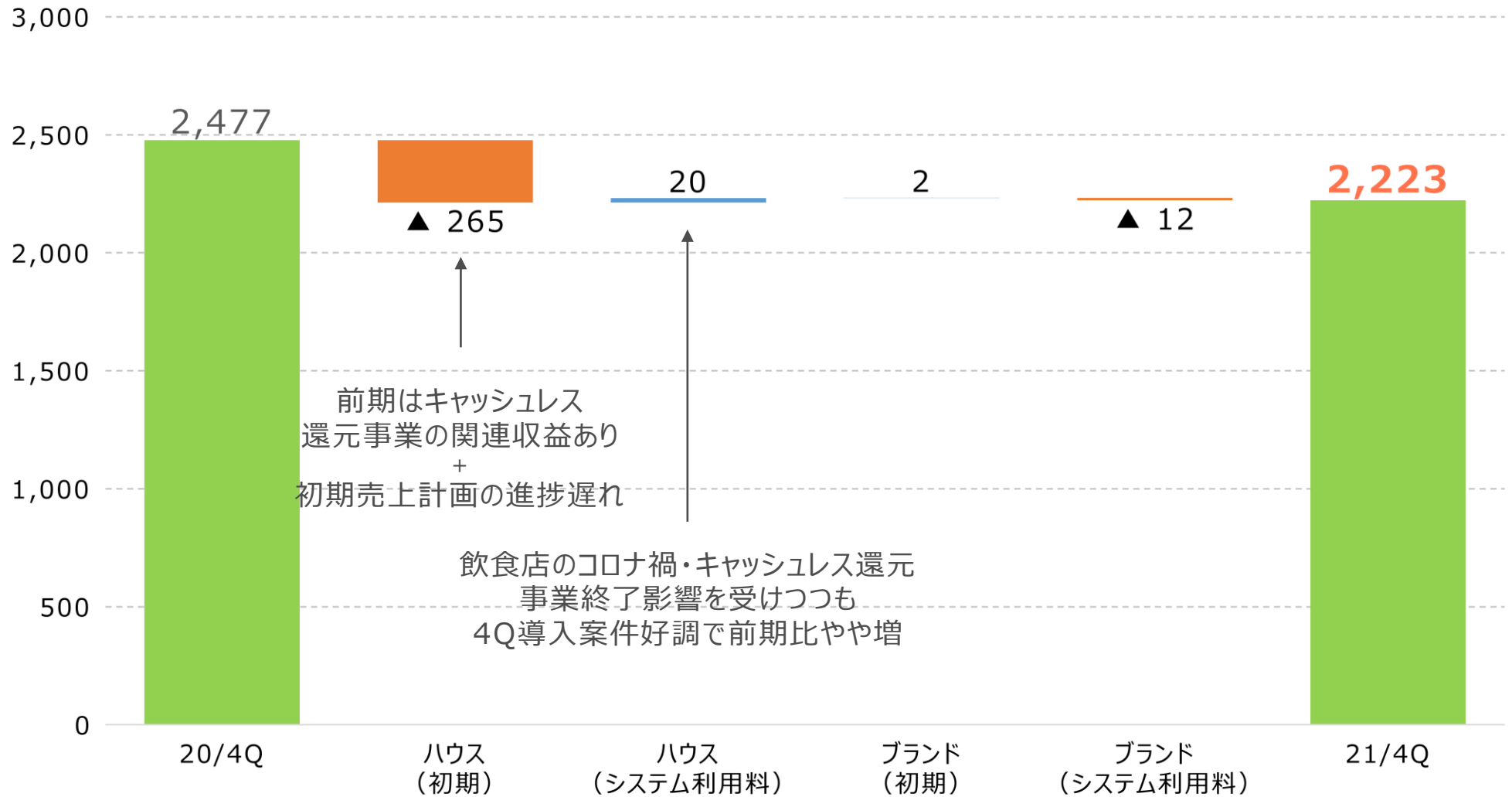
	① 2021年 6月期 (実績)	② 2020年 6月期 (実績)	前期比 (①÷②)	③ 2021年 6月期 (最新予想)	達成率 (①÷③)
売上高	2,223	2,477	89.7%	2,165 ~ 2,196	102.7% ~ 101.2%
(初期売上)	① 746	1,008	74.1%	719 ~ 748	103.8% ~ 99.5%
(システム利用料売上)	② 1,477	1,469	100.6%	1,446 ~ 1,446	102.1% ~ 102.1%
営業利益	③ 31	137	22.9%	5 ~ 31	630.8% ~ 101.4%
経常利益または経常損失	④ ▲0	122	▲122百万円	▲23 ~ 2	- ~ -
親会社株主に帰属する当期 純利益または当期純損失	⑤ ▲56	76	▲133百万円	▲87 ~ ▲61	- ~ -

【Point】

- ① キャッシュレス還元事業のコンソーシアム手数料収入のあった前期に比して減少
また、コロナ禍による案件の進捗遅れ・期ズレにより、当初計画に対する達成率は80%程度
- ② 飲食店のプリペイド利用回復の遅れ、キャッシュレス還元事業終了の影響はありつつもほぼ当初計画・最新予想の通り
- ③ ①の影響により前期比20%程度の水準（当初計画比も30%程度の達成率）
- ④ 第三者割当による新株予約権発行に関わる営業外費用の計上あり
- ⑤ 投資有価証券評価損30百万円を3Q決算にて、繰延税金資産の取崩しを含む法人税等調整額23Mを本決算にて計上

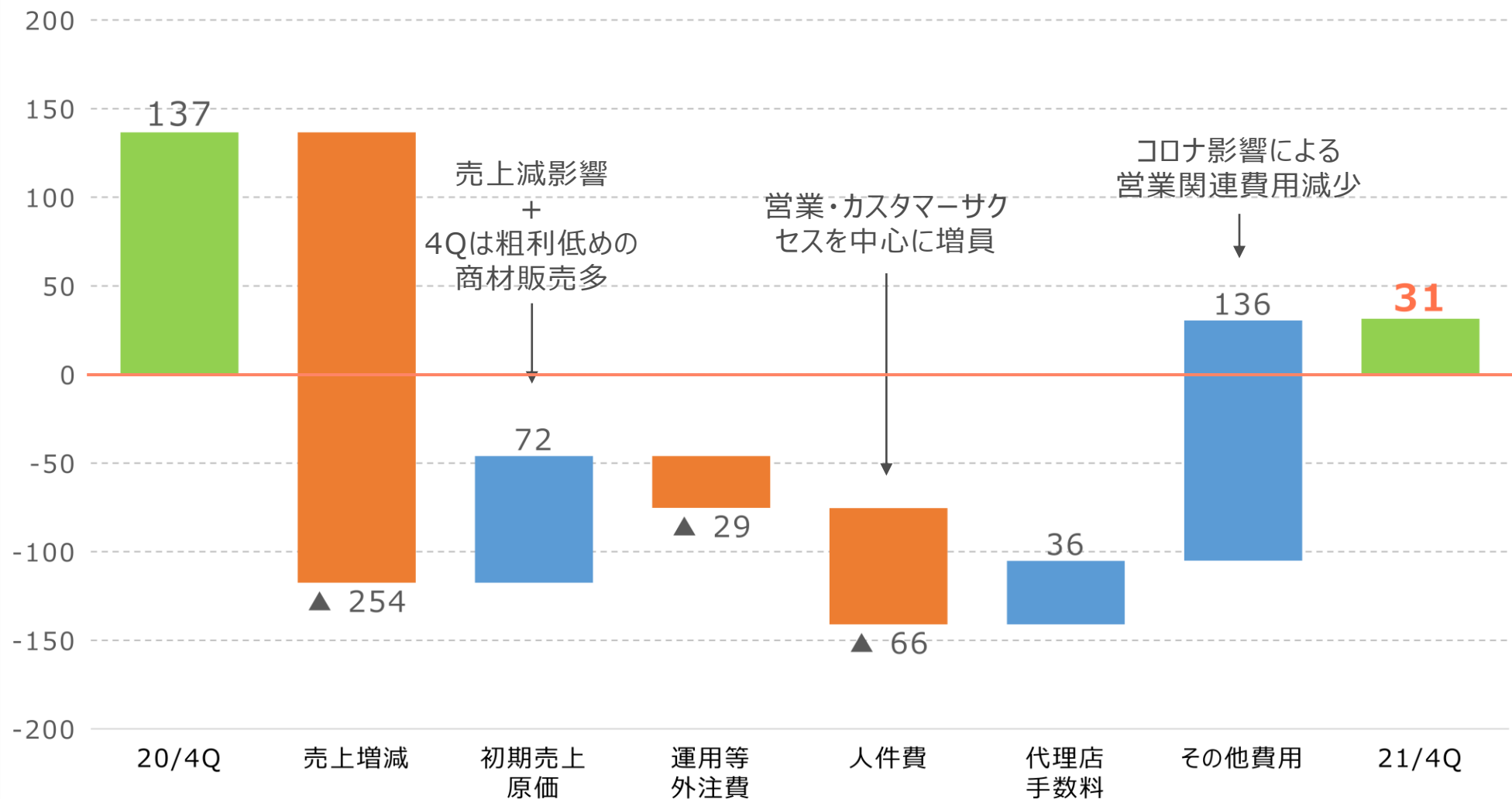
連結売上高の変動要因（前期比）

(百万円)

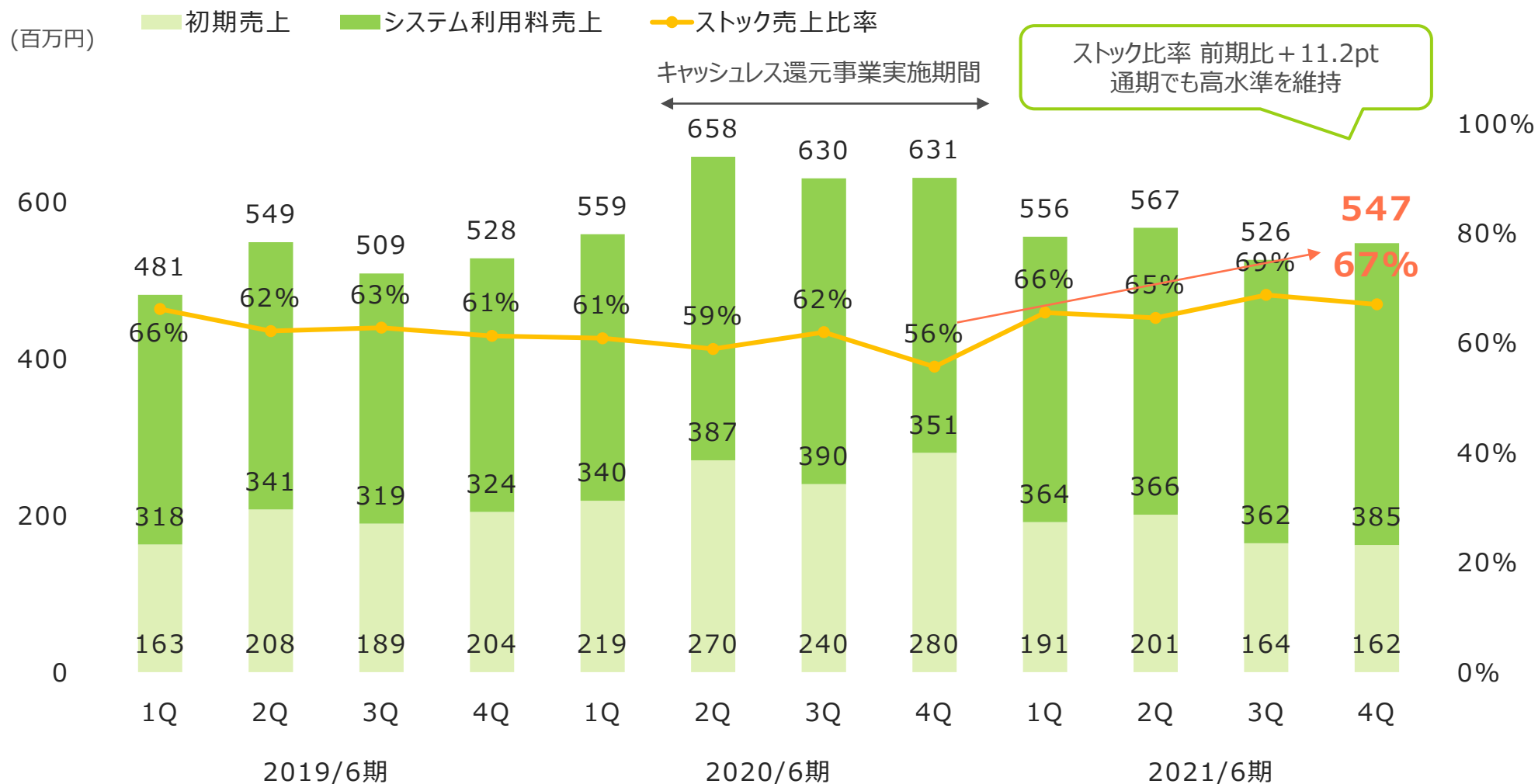


連結営業利益の変動要因（前期比）

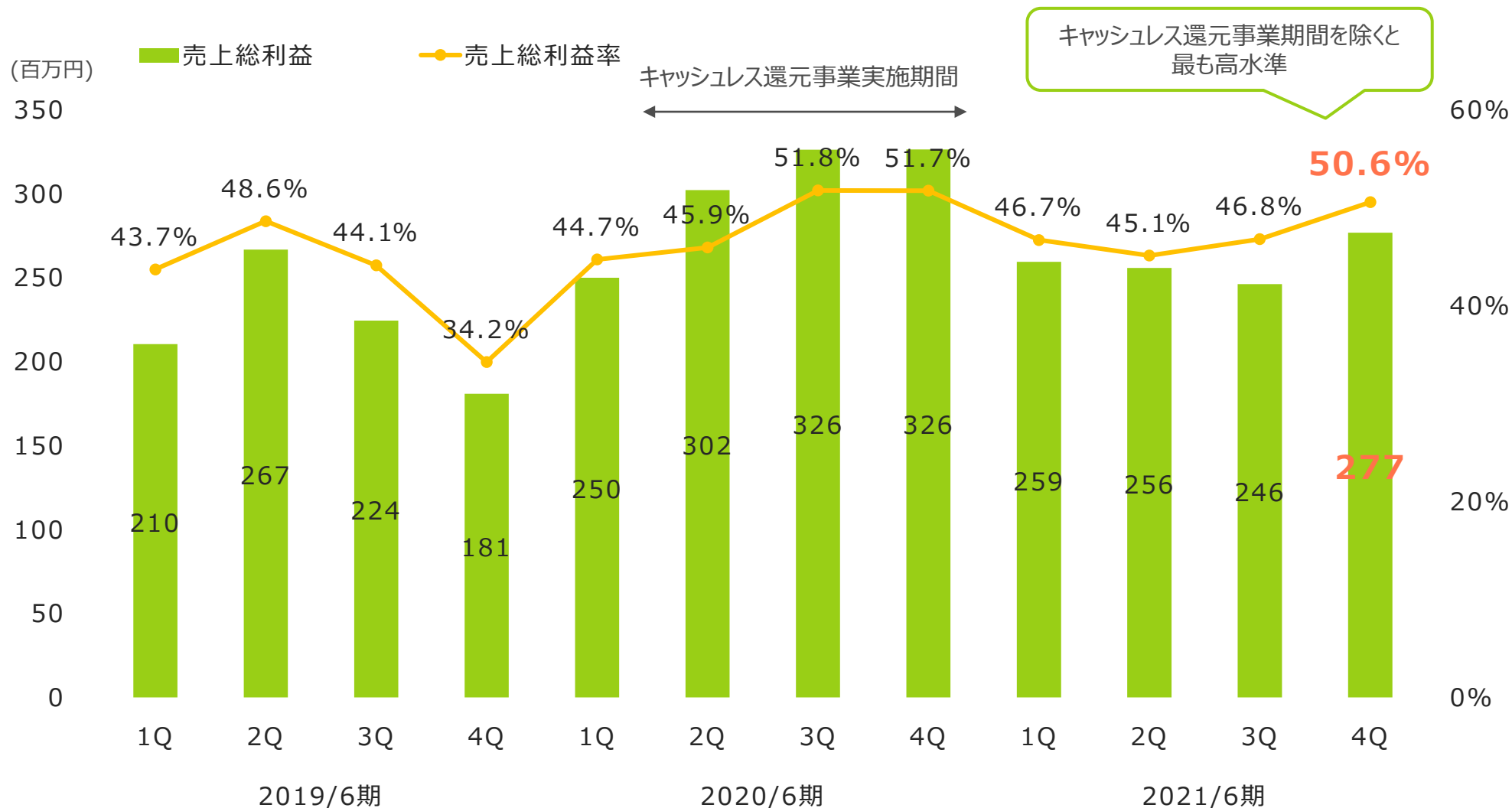
(百万円)



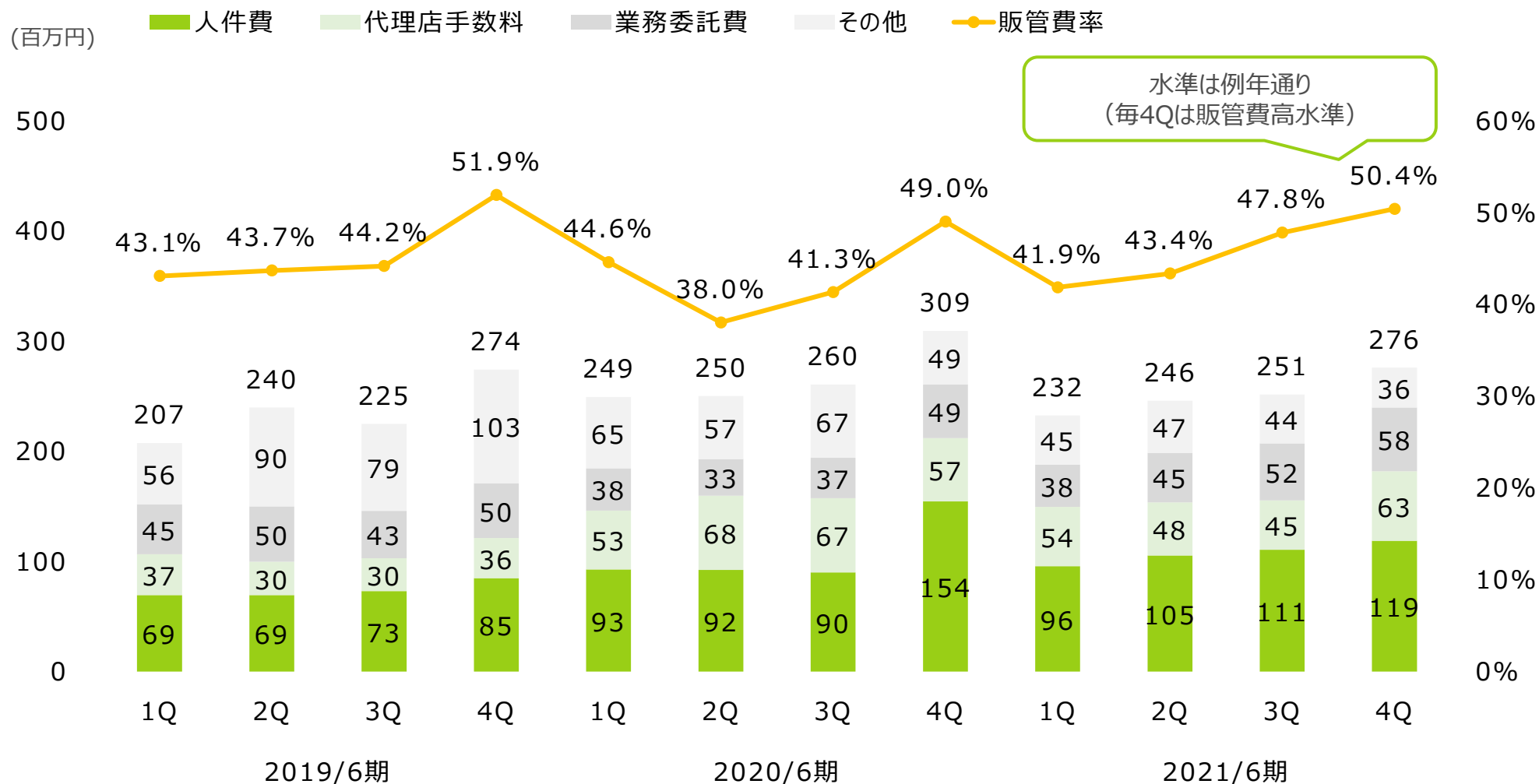
四半期業績推移（連結売上高）



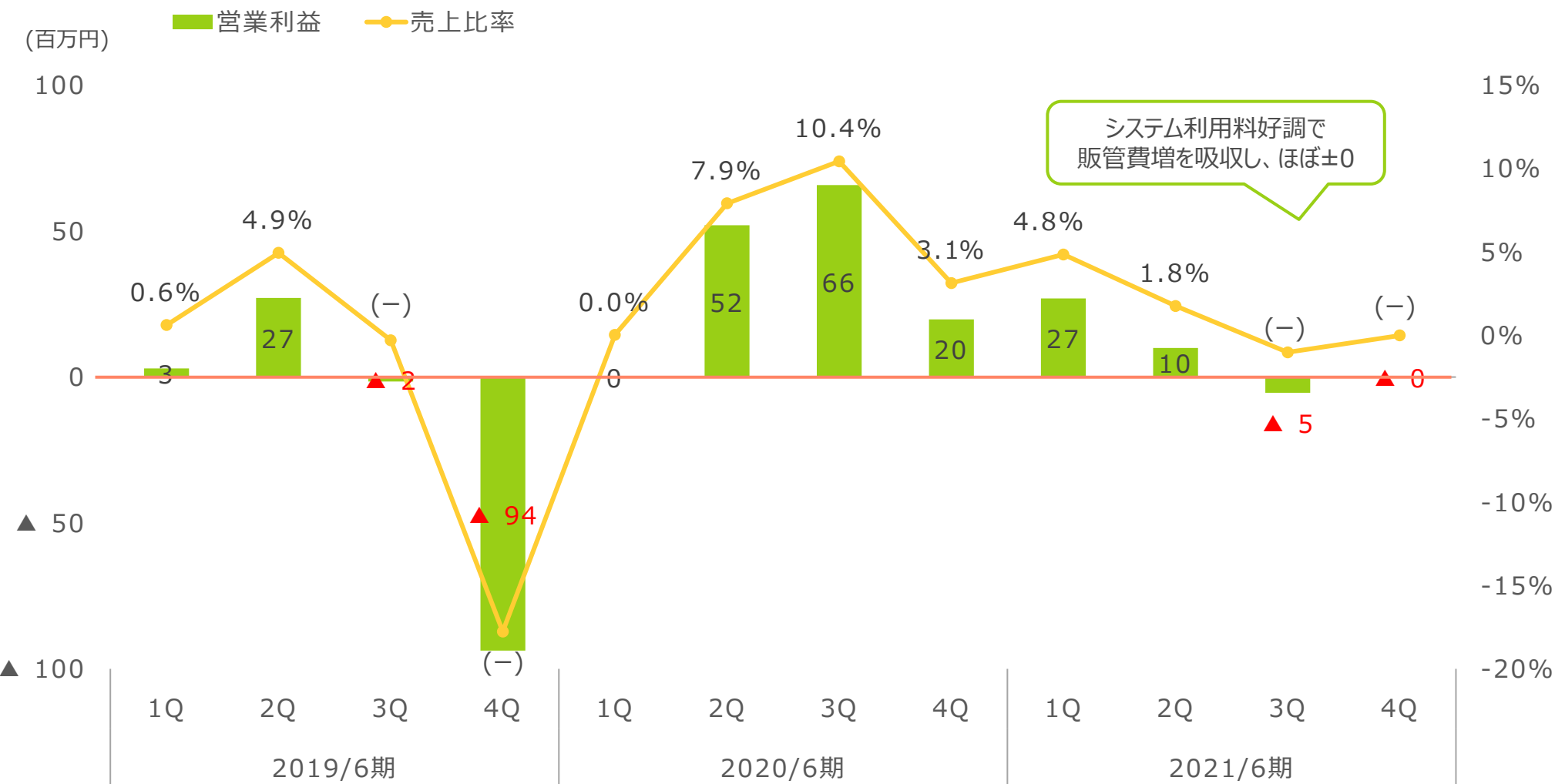
四半期業績推移（連結売上総利益）



四半期業績推移（連結販売費及び一般管理費）



四半期業績推移（連結営業利益）



1. 2021年6月期 決算報告
2. セグメント別業績
3. 2022年6月期の業績見通し

事業別業績：ハウスプリペイド

初期売上は25%超の減収、システム利用料売上はコロナ影響を踏まえた期初予測の通り（前期並み）
リモート化等効果により販管費10%減も、減収影響でセグメント利益は15%強減少

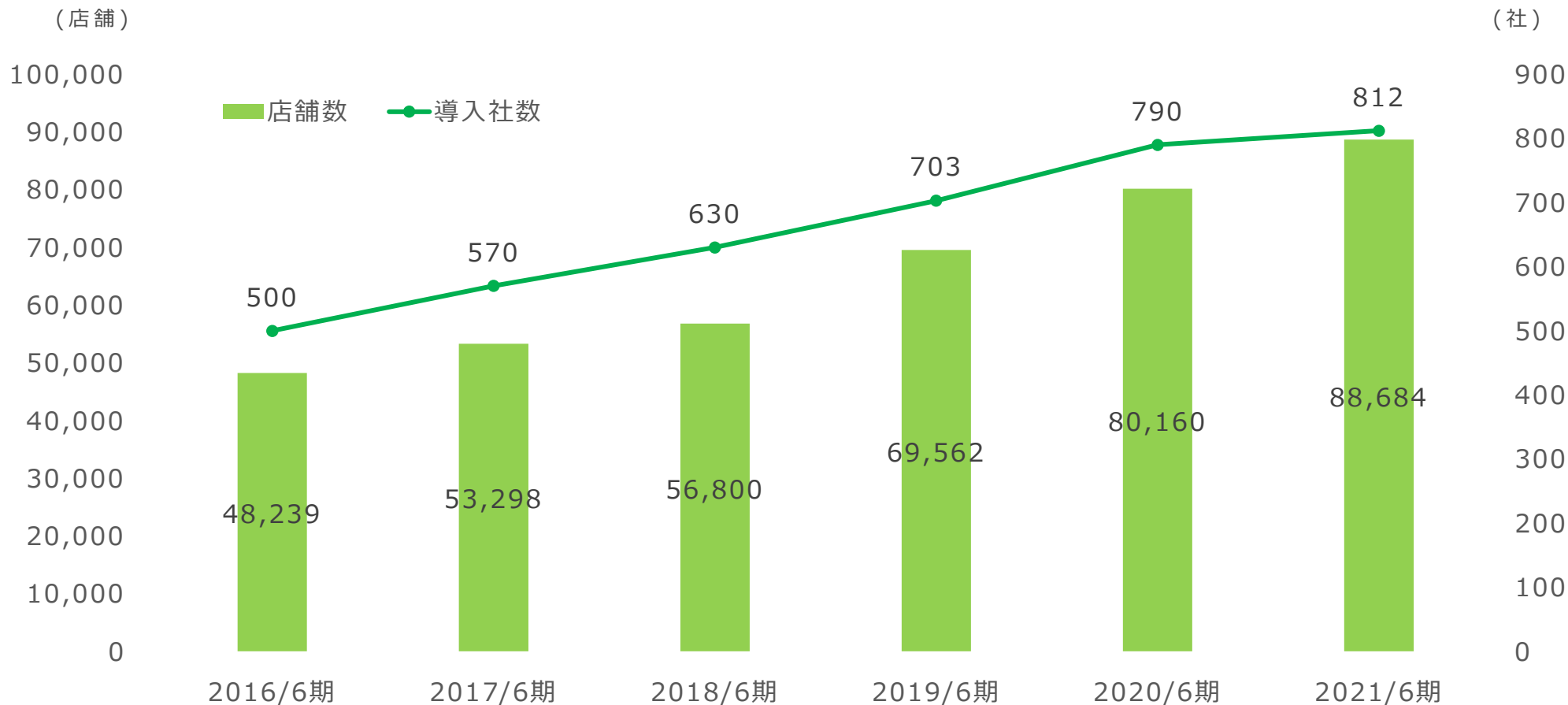
（百万円）

	① 2021年6月期 （実績）	② 2020年6月期 （実績）	前期比 （①÷②）
売上高	2,079	2,323	89.5%
（初期売上）	728	993	73.4%
（システム利用料売上）	1,350	1,331	101.5%
セグメント利益	460	557	82.8%

ハウスプリペイド事業の状況（店舗数・導入社数）

導入社数800社、導入店舗数は9万店舗付近まで増加

<導入店舗数・導入社数（累計）の推移>

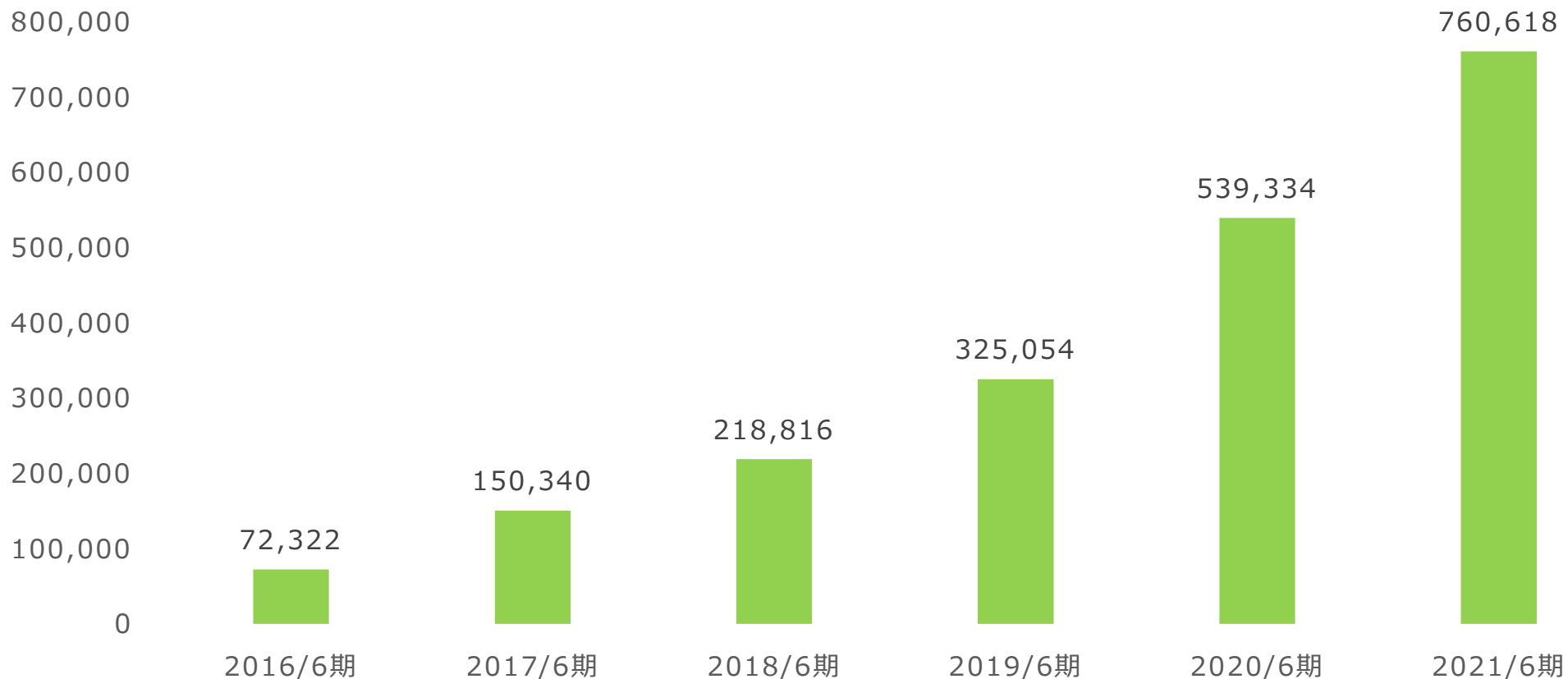


ハウスプリペイド事業の状況（取扱高）

コロナ影響による飲食店の取扱高停滞と量販店の増加傾向は変わらず、前期比約41%増

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移 ※海外含む>

(百万円)



事業別業績：ブランドプリペイド

一部案件のサービス終了に伴い、システム利用料売上の減収がありセグメント損失が若干増

(百万円)

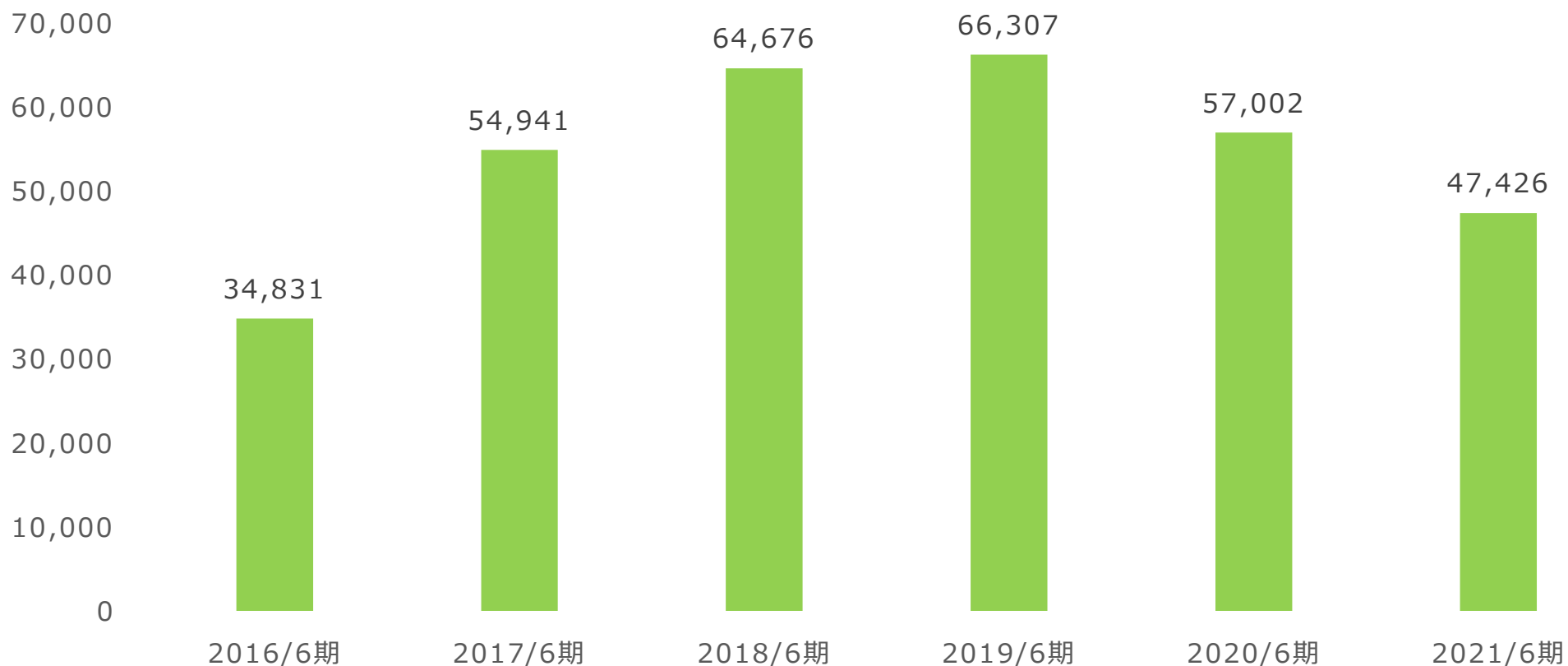
	① 2021年6月期 (実績)	② 2020年6月期 (実績)	前期比 (①÷②)
売上高	143	153	93.5%
(初期売上)	17	15	115.4%
(システム利用料売上)	127	138	91.6%
セグメント損失	▲53	▲45	▲8百万円

ブランドプリペイド事業の状況（取扱高）

既存案件の利用も現状維持～減少の傾向にあり、前期比約17%減

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>

(百万円)



事業別業績：海外

東南アジア・インドを中心にコロナ禍の影響を全年で受けるも、タイの既存案件の成長により増収
不採算エリアでのコストダウンも寄与し、セグメント損失も改善

(百万円)

	① 2021年6月期 (実績)	② 2020年6月期 (実績)	前期比 (①÷②)
売上高	54	47	116.2%
(初期売上)	9	10	93.7%
(システム利用料売上)	44	36	122.6%
セグメント損失	▲51	▲65	+14百万円

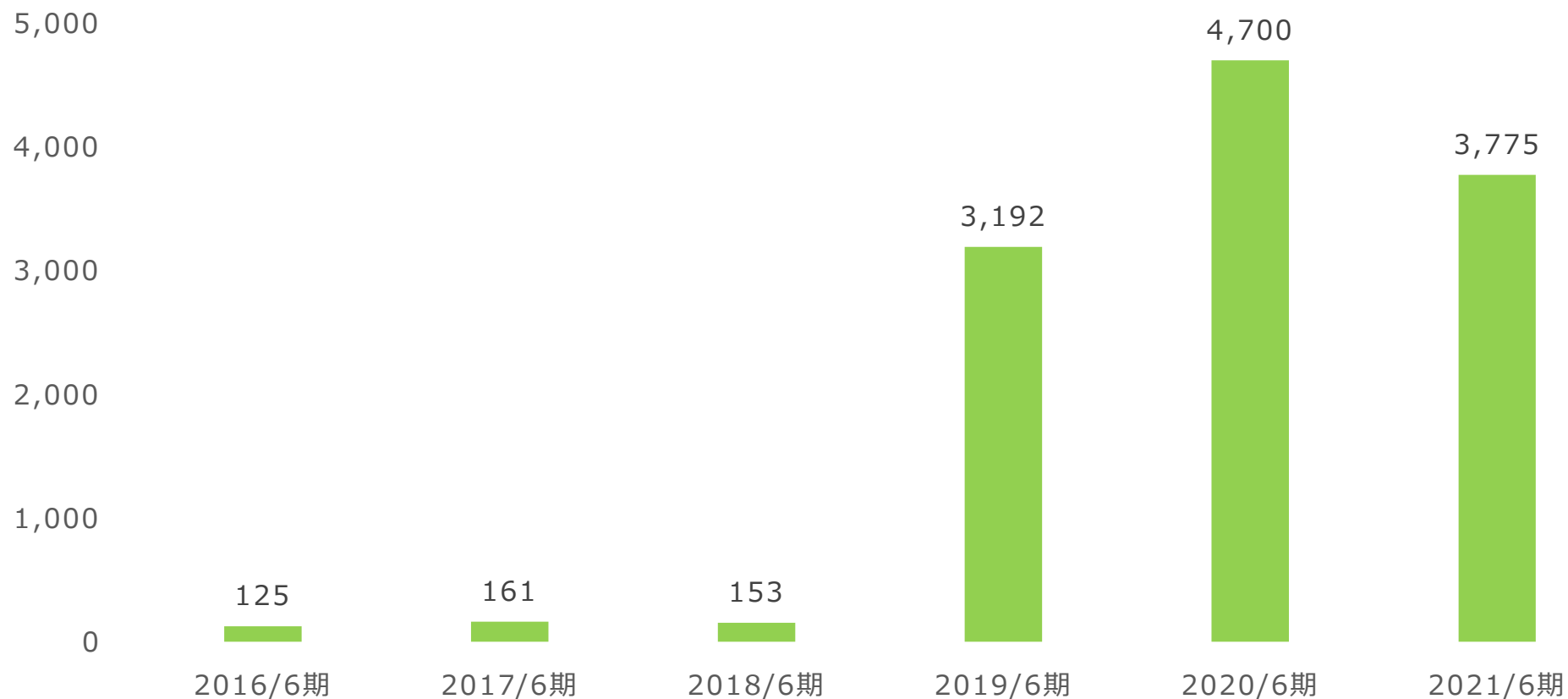
(注)海外は当社セグメント定義上ハウスプリペイドに属するため、当業績は前出のハウスプリペイドの業績に含みます。

海外の状況（取扱高）

インドでのコロナ影響が大きく、前期から約20%減少

<海外単独の年間取扱高（＝プリペイドチャージ額）の推移>

（百万円）



（注）海外は当社セグメント定義上ハウスプリペイドに属するため、当実績は前出のハウスプリペイドの実績に含みます。

1. 2021年6月期 決算報告
2. セグメント別業績
3. 2022年6月期の業績見通し

2022年6月期 連結業績予想

飲食業界での利用回復は未だ時間を要するため、小売業案件を中心とした成長となる見通し。複数案件のサービス終了によるブランドプリペイドのセグメント損失拡大により、営業利益は減益を予測

(百万円)

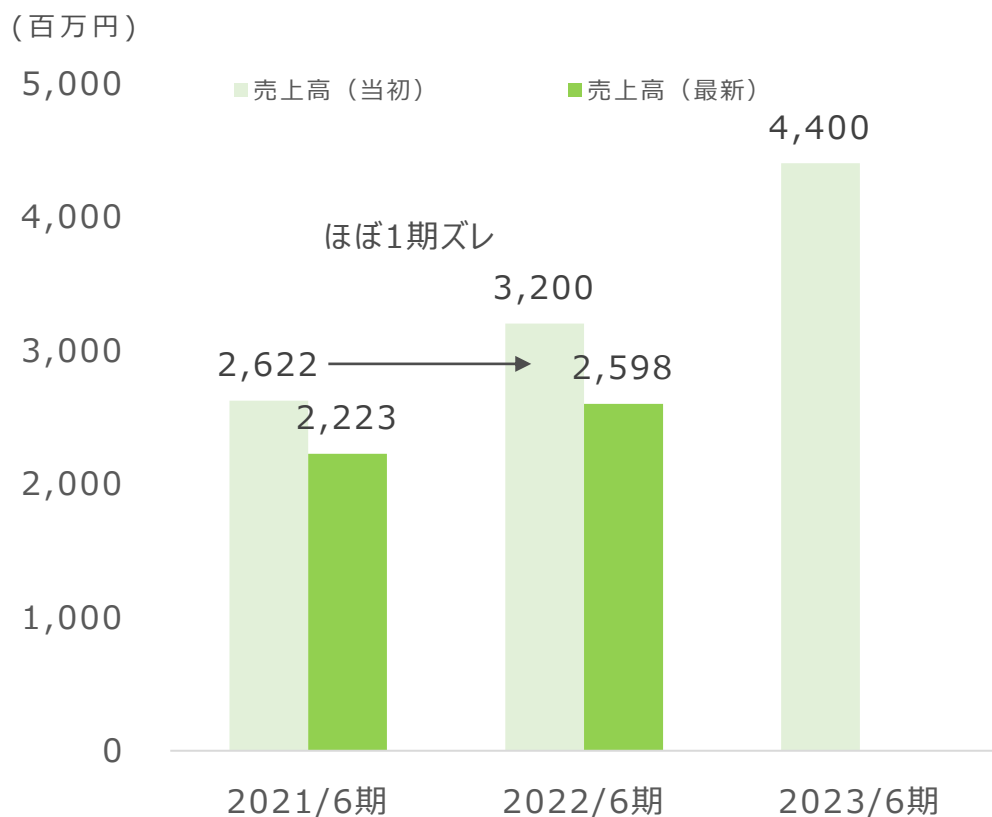
	2022年 6月期予想	2021年 6月期実績	前期比
売上高	2,598	2,223	116.9%
（初期売上）	980	746	131.4%
（システム利用料売上）	1,618	1,477	109.5%
営業利益	16	31	53.6%
経常利益または経常損失	9	▲0	+ 9百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	4	▲56	+ 60百万円

中期業績目標の進捗

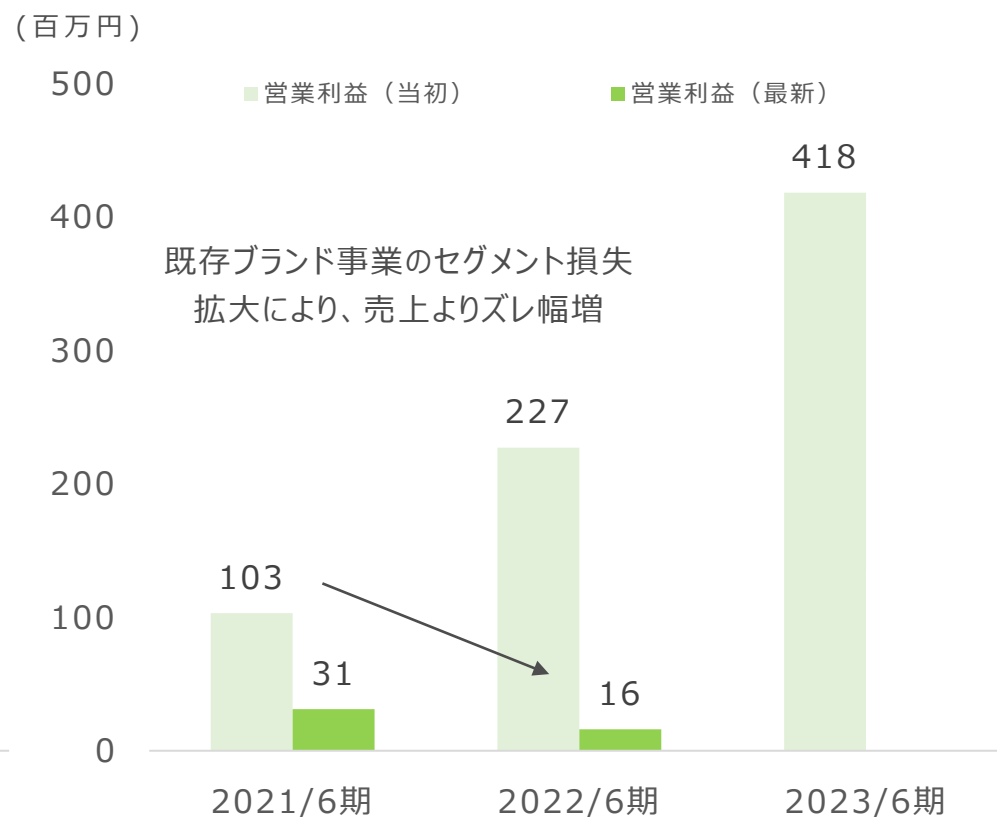
2020/9発表の中期経営計画に対して、業績は1年程度遅延している状況

2023/6期以降は今後の業績の進捗、市況を踏まえて必要があれば見直しを行う

中計と実績・最新予想の比較（連結売上高）



中計と実績・最新予想の比較（連結営業利益）



中期業績目標の進捗（KPI）

KPI	実績		目標（状況に応じて見直しあり）	
	2020/6期	2021/6期	2023/6期	2025/6期
取扱高 (プリペイド入金額)	5,393億円	7,606億円	1.5兆円	2.5兆円
導入店舗数	8万店舗	8.8万店舗	10万店舗	15万店舗
決済比率	13.0%	13.8%	30.0%	40.0%

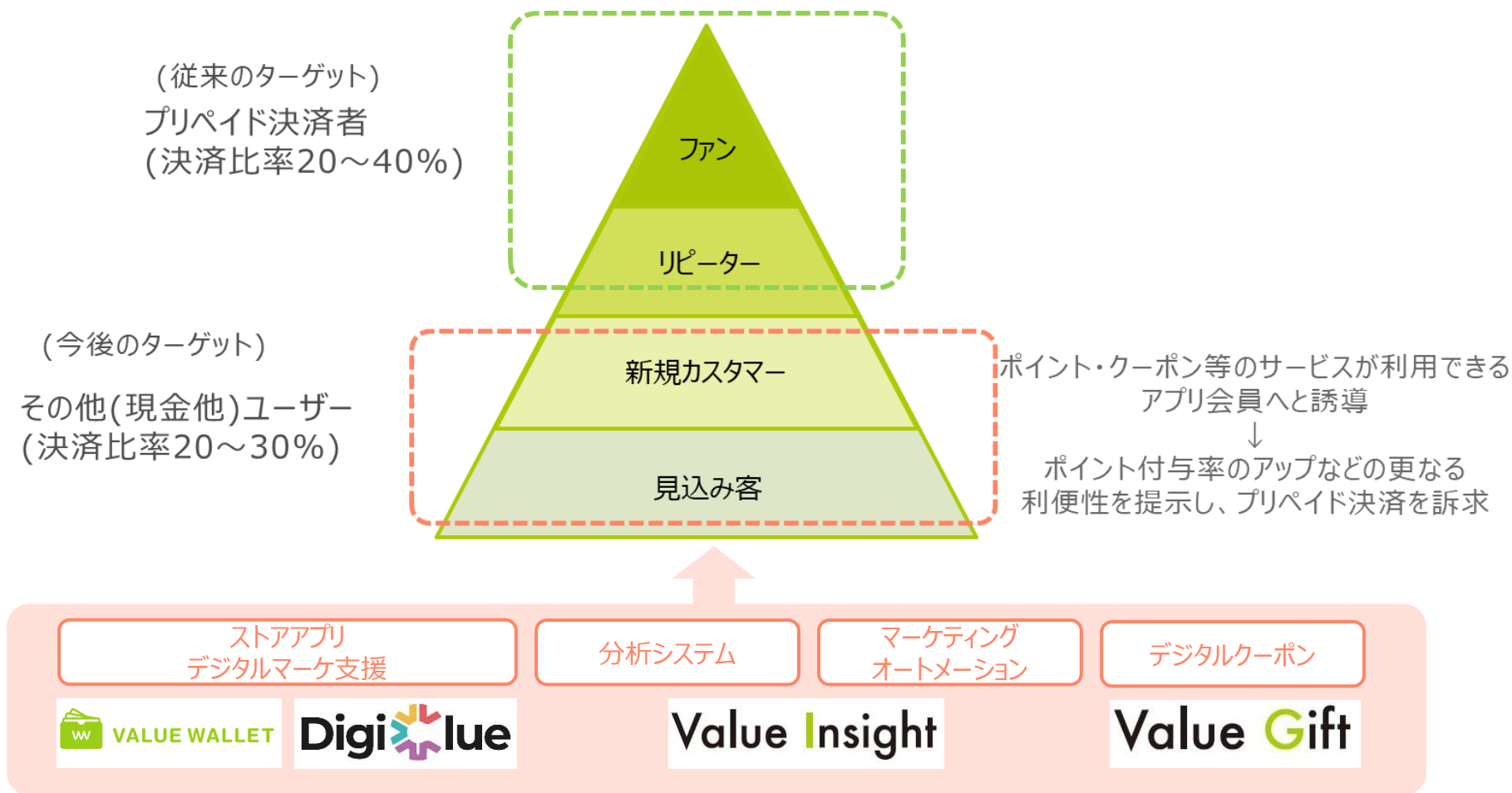


売上目標

システム手数料売上	14.6億円	14.7億円	40億円～	80億円～
-----------	--------	--------	-------	-------

成長戦略（顧客接点のDXによるプリペイド会員の獲得）

プリペイド及び周辺サービスのデジタル化を推進し、非プリペイド利用者(他決済手段の利用者)を取り込み
プリペイド+アプリ会員を全体の40%~70%へ拡大する



以後も順次、開発やアライアンスによりサービスを拡充予定

海外事業の再編

導入店舗数ベースでの成長が堅調であるタイ・インドを成長市場と位置付け、成長を加速するため中国現地法人の閉鎖をはじめとするリソースの再配分を実行

<各国のサービス導入店舗数と活動状況（括弧内は前期比増減）>



本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。